

第3節 施設・予算

1. 用地・建物

〔藍 住〕

農業機械化センターを板野郡藍住町に設置することが決ったが、用地が思うように入手できず本館等の建物敷地(当時の農業試験場藍仕分場・現在の藍住農村 青年の家の北隣)1, 550㎡および実習ほ場41.36aを藍住町のはからいにより無償で借受けることとなった。実習ほ場の内55.9aは県が購入する ことができた。

建物は、昭和40年3月1日に板野町板東建設と契約し、工期を40年3月2日から同年8月10日と定め工事に着手した。竣工は同年8月16日であつたが 附帯施設の完成がおくれたために落成式は同年9月7日となり、施設・機械等の調整を完了して研修を開始したのは11月下旬であつた。

建物や研修用機械、整備用工具、実習ほ場は完備したが運転練習場がなく、当分の間は実習ほ場の内約50aを使用した。旧吉野川の河川敷(板野郡藍住町東中富西向江傍示99)55.68aが運転練習場として占用許可されたのは昭和43年1月10日であつた。

(1)用地

農機機械化センター敷地	1, 550㎡
〃 運転練習場	55. 68a
〃 実習ほ場	97. 26a(公簿面積)

(2)建物

研 修 館	287. 51㎡(木造一部二階建)
整備作業舎	210. 00㎡(鉄骨スレート平家建)
格 納 庫	216. 00㎡(〃)
物 置	21. 11㎡(軽量鉄骨スレート葺)

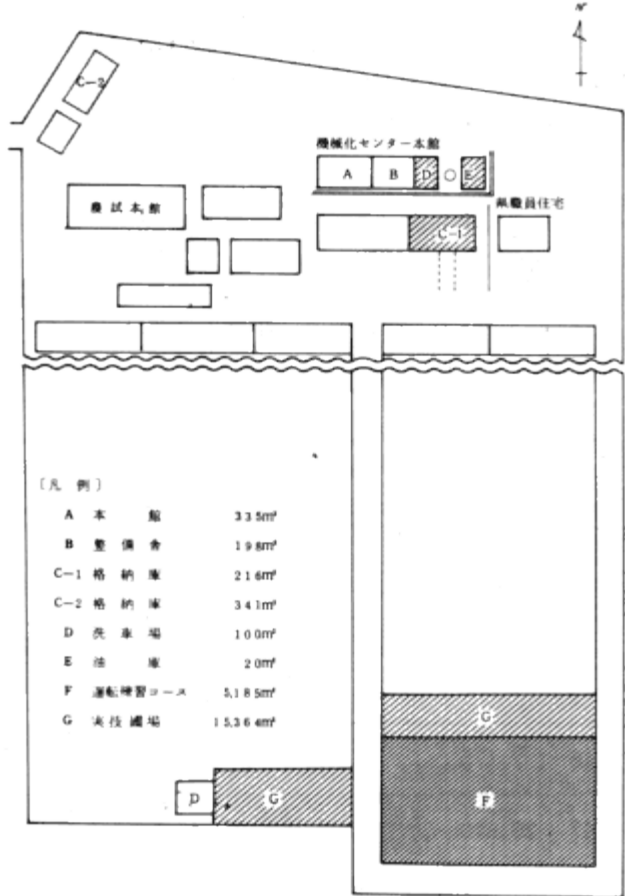
〔石 井〕

○ 昭和47年度事業	(2443万5000円)
運転練習コース場アスファルト舗装工事	
	5, 185㎡ 996万9000円
油庫新築工事	20㎡(RC造・平屋建)
格納庫新築工事	99㎡(鉄骨平屋建)
	1446万6000円
洗車場新設工事	50㎡(〃)

○ 昭和48年度事業	(2972万2000円)
本館新築工事	335㎡(鉄骨一部2階建)
	1794万8000円
整備舎移転工事	198㎡(鉄骨スレート平屋建)
	236万7000円
格納庫移転工事	216㎡(〃)
	320万4000円
屋外附属工事及び管工事	261万4000円
電灯及び動力設備工事	169万9000円
屋外幹線設備工事	188万8000円

○ 昭和49年度事業	(468万9000円)
試験官室(コース)新築工事	20. 86㎡(鉄骨2階建)
	383万0000円
運転実習ほ場排水工事ほか	85万9000円

2. 施設の配置状況



第 1 図 農業機械化センター配置図

3. 研修用機械・器具

昭和39年度に作業研修用機械として、乗用トラクタ3台(44.5ps・30ps・17ps)、付属作業機として、ボトプラウ等24台、整備研修用機械として、門型クレーン等173台を購入・整備して研修を開始した。また、同年度において「農業機械化実験集落設置事業」の実施県を重点に、国が実施した「水稻収穫調整機械設置事業」により、県の直営事業として、普通型コンバイン(インター93型ライススペシャル・刈巾2.6m・エンジン50ps)1台(531万4000円)ドライヤー(ニューホランド736E型・70石用・移動式)1台(375万円)を導入して、農業機械化センターで保管し、県内数か所において実演展示会を開催すると共に、研修用にも供した。

昭和40年度には、農業改良課から耕土改良用乗用トラクタ1台(35ps)の保管転換を受けている。

昭和43年度には、「農業機械化実験集落設置事業」の終了に伴って、国からの払い下げ機械(乗用トラクタ3台ほか主要な作業機は地元が購入)として2tダンプトレーラほか作業機11台を県が購入し、研修用機械として補填した。

昭和48年度には、土木研修用機械として、乗用トラクタ2台(60ps・45ps)とフロントローダ、レベラ、レーキを購入した。

昭和56年度には、稲作転作機械化研修を実施するために「農業機械利用技能者養成施設設置事業」により、乗用トラクタ1台(43ps)付属作業機として、ロータリ、トレンチャ、サブソイラ等を購入し、さらにコンバインの普及により事故が多発しているために、自脱型コンバイン(3条刈り・ノッタ・立体放 出・カッタドロップ付き)を購入し、研修用機械を充実した。

現在、研修用車両として、乗用トラクタ8台、歩行用トラクタ2台、コンバイン2台(自脱型1台・普通型1台)、付属作業機として、ボトムプラウほか51 台、整備研修用機械器具として、カットシャーシほか24台、視聴覚教材として、ポータブルビデオコーダーほか12台がある。

4. 予算

予算費目は、款06農林水産業費・項01農業費・目03農業振興費で、年度別の予算執行状況は第4表のとおりである。

第 4 表 年度別予算執行額 (単位:千円)

年 度	予算額	備 考	年 度	予算額	備 考
39	31,043	研修館・整備舎・格納庫等建設・トラクタ・作業機・整備測定器具等購入	49	9,560	試験官室(コース内)新築 運転実習ほ場排水工事ほか
40	2,794	一般管理費・研修事業費ほか	50	2,666	一般管理費・研修事業ほか
41	1,804	〃	51	2,404	〃
42	1,442	〃	52	2,329	〃
43	1,774	〃	53	2,389	〃
44	1,608	〃	54	4,613	〃 (22 条職員賃金含む)
45	1,539	〃	55	4,074	〃 (〃)
46	2,175	〃	56	4,868	〃 (〃)
47	26,610	運転コース舗装 格納庫・油庫・洗車場設置ほか	57	5,037	〃 (〃)
48	36,021	研修館新築 整備舎・格納庫移転ほか	58	4,974	(当初予算額)

〔 農業改良課監査調査より 〕